



第4学年「わり算の仕方を考えよう」池上 夏希 教諭

教材研究会を受けて、わり算の単元の中の「倍」を扱うところで、新設の「簡単な場合についての割合」につなげて取り組むように単元のリデザインを考え、数量の関係を数直線の図に表すこと、かけ算の式に表すことなどの既習を用いることで、新たな問題場面でも解決できることに気付かせ、数直線で表すことで小数倍の世界が見えるような問題を取り入れた提案授業でした。



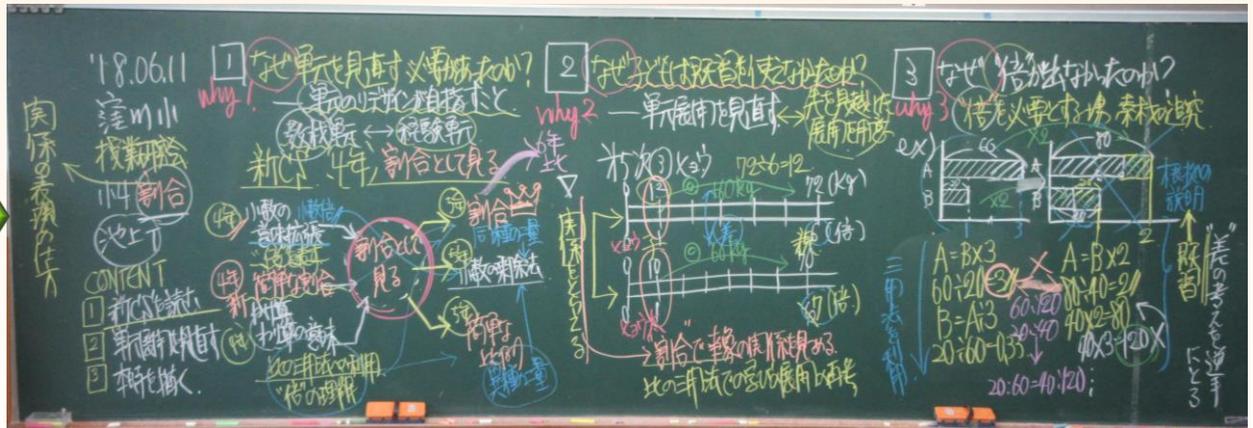
前回の教材研究会を受けた今回の単元のリデザインのあり方がよかったのかという観点で協議が行われました。子どもたちに既習の生かし方に気付かせるためにも、前時までの学習のつながりを意識させるような発問や切り返しの必要性が出されました。



割合として物事を捉えることができるようになるための単元デザインを!

「割合としてみる」というテーマの基に、5年生以降の子どもたちが学ぶ内容や姿をイメージして、どのように4年生の教材を組織(単元をデザイン)していけばいいかを考えていくことが重要である。同種の2量を扱う「倍」の3用法の学習の中で学んだことを使いながら(既習を用いて)解決していける「授業の素材」を追求していくこと。また、学習のうえでの子どもがつまづきを逆手にとった展開を用意する「単元展開の見直し」をすること。さらには、4年の学習につながる下学年の学習を毎年しっかりと積み上げることが必要である。

齊藤一弥
学力向上総括
専門官による
指導板書



授業者の声

実際に授業をやってみることで様々な課題に気付くことができました。子どもたちに確かな学力を身に付けさせるために、内容の関連性や既習と発展を意識した授け、単元づくりをしていきたい。

参会者の声

本単元が、どの学年でどの単元とどのように関連しているのかを把握し、どのようなゴールを目指して単元を構成していくかを考えることが大切だと分かった。教える側が先を見据えた展開を用意すること、単元のリデザインを行うことの必要性を学んだ。【興津小 久保田美紀 教諭】

次回、窪川小学校の教材研究会は、
8月24日(金)
9:10~11:10です。
たくさんのご参加お待ちしております!

